



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp/>

<No.56>

立教新座、～冬の行事～

立教新座では、冬も多くの学校行事が行われます。今号では、その中の一部をご紹介します。



イルミネーション点灯式



スキー学校



音楽祭



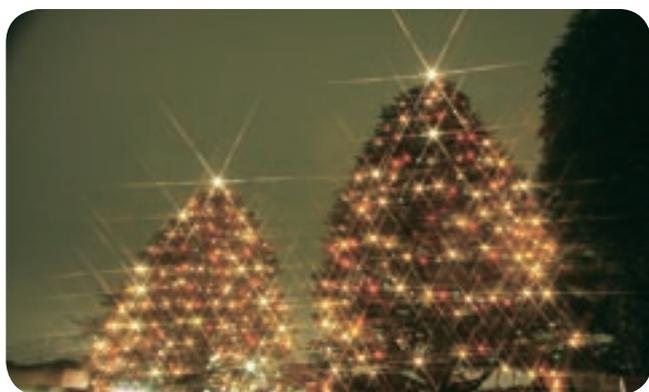
英語スピーチコンテスト



社会科校外学習

イルミネーション点灯式

高校生のクリスマス実行委員会が中心となり、正門にある2本のヒマラヤ杉に約1,000個の明かりを灯しクリスマスの始まりを告げました。



12月1日(木)立教新座中学校・高等学校イルミネーション点灯式が行われました。当日は、まずチャペルで礼拝を行い、それからイルミネーションの点灯という流れでした。点灯式には多くの来場者が来ると聞いていました。しかし、当日チャペルの中には参加者の方が、あまり見られませんでした。悔しさと寂しさが入り混じる中、礼拝が終わりロータリーに出ると、そこには200人を超える近隣や大学生の来場者がいて感動したことは今でも忘れられません。そして杉の木にイルミネーションを点灯し、無事にイルミネーション点灯式を終えることができました。

当日まで多くの準備を行い最高の形で当日を迎えられたのは、先生方や校友会の人々、有志を含む実行委員のおかげです。頼りない委員長だったかもしれませんが、最後までついてきてくださり、ありがとうございました。

クリスマス実行委員長 3年3組 田中 智也

イルミネーション点灯式は、2000年7月に発足したクリスマス実行委員会が、実行委員会発足当初から、立教新座中高委員会主催のクリスマス行事として、最重要のものと位置付けてきた活動です。キリスト教では、クリスマスまでの四回の日曜日を含む期間を「アドベント」と言い、クリスマスを迎える心の準備をする期間としているということですが、実行委員会では、この行事をアドベントの比較的早い時期に行うものとしています。点灯された灯りは、クリスマスに関係する期間として、点灯日から1月6日（顕現日、東方の三博士が星を見た日）迄の期間灯されます。新座キャンパスの関係者だけではなく、地域の皆様にも、楽しんで頂けたと思います。

校友会本部長 中間 和洋



スキー学校

12月25日～29日に山形県天元台スキー場で行われたスキー学校も今年で58回目を数えました。

今年は例年になく当たり年となり、1mを超える積雪量とパウダースノーの中、絶好のスキー日和が続きました。外気温が-10度以下になるなど厳しい環境ではありましたが、スキー・スノーボード合わせて約80名の生徒が、おのこの技術レベルに合わせて有意義な講習を受けることができました。

保健体育科教諭 香取 隆介



音楽祭

中学1・2年生が、音楽の授業の成果を発表しました。2週間前よりクラス毎に練習をし、当日に臨みました。

11月19日に行われた音楽祭で僕ら1年B組は優勝した。当日の緊張した雰囲気の中、指揮者の僕は観客におじぎをし、ふり返って見た全員の顔に驚いた。全員の目つきが違うのだ。全員が真剣な眼差しで僕を見ているのだ。そして合唱。その合唱は、会場の観客を魅了する（全力で練習の成果を確かめる）合唱だった。

今、一つ一つの出来事を振り返ってみると、心をひとつにして一体となって盛り上げてくれた仲間、そして指導して下さった香取先生に感謝の気持ちでいっぱいだ。

僕は、この頼れる仲間と歌えた事を誇りに思っている。

1年B組 奥村 優



～スキー学校に参加して～

-7℃、-11℃、-15℃。リフトで山を登っていくと気温がどんどん下がった。それとは裏腹に自分のテンションは上がる。中1のころから行きたいと思っていたスキー学校に今回は参加をすることが出来た。スキーをするのは、6年ぶりだ。しかし不安はない。きちんと講習を受けるのは初めてなので、早く技術を身に付け、上手く滑れるようになりたかった。検定は、3級を受けたが不合格だった。しかし、コーチの指導のもと、毎日がとても充実し自分の自信にもなった。また友達と過ごす4泊5日の時間は、とても楽しかった。伝統のあるスキー学校。次回は、ボードにもチャレンジしたいと思います。

3年A組 石川 侑樹

1年3組 岸本 健



芸術鑑賞会

今年は、林家たい平さんの落語や、林家二楽さんの紙切り、柳貴家小雪さんの太神楽など日本の伝統芸能を鑑賞しました。

僕は12月16日に芸術鑑賞会を見に行きました。そもそも僕は落語をあまり知らずテレビで少し見たことがある程度でした。そして初めて生の落語を聞きとてもおもしろかったことを今も覚えています。

そして他にも太神楽という芸も僕は、体験することができました。紙切りでは、どんなものでも紙を切るだけで表現していて落語は話しているのを聞くだけではなく見ることもおもしろいとわかりました。そして僕は、将来落語にふれ合う機会があるならば、是非参加したいと思います。

1年B組 伊藤 直

英語スピーチコンテスト

第12回立教新座中学校英語スピーチコンテストが、過日12月20日(火)に実施されました。当日は、英会話の授業を通じて選ばれた代表者が英語によるスピーチの技を競い合いました。各学年のテーマは例年通りで、以下の通りです。中学1年生：「自己紹介」、中学2年生：Show and Tell (実物提示&紹介)、中学3年生：A vs B (A対B)。

母語ではない外国語で、かつ、多くの聴衆を目の前にして、演説を行うということは決してやさしいことではありません。しかしながら、その難題をものともせず、聞く者の琴線にふれるような堂々たるスピーチを披露してくれました。

このスピーチコンテストを機に、各人の英語に対する取り組みに何らかの変化が生まれることを期待したいと思います。

英語科教諭 佐藤 健



〈中3 栗原 君〉

社会科校外学習

中学1年生の社会科校外学習は、年4日、全8コースが設定され、興味のあるコースを選択し参加することになっています。

12月23日には、「川越コース」と「深川・両国コース」が実施されました。



〈中1 飯塚 君〉



〈中2 金 君〉

英語でスピーチした事など今まで一度もなかったもので、前日からかなり緊張したのを今でも鮮明に覚えています。

スピーチコンテストでは自己紹介の他に僕の尊敬している吉田松陰の「志定まれば気さかなり」という言葉の表現や発表の際の強弱に苦心しました。

練習では早すぎてしまったりしたのでスピードにも気をつけました。次回のスピーチコンテストは周りの人達もレベルアップしていると思うので、今回のようにはいけないと思いますが、僕も負けなようにがんばります。有難うございました。

1年A組 飯塚 俊範

僕は1年生の時、英語が苦手な発音も悪く英語にあまり興味がありませんでした。だからスピーチコンテストに選ばれなくてもなにも感じてはいませんでした。しかし、去年の夏にカナダ留学に行ってから英語の重要性、面白さが理解でき興味がわきました。

2年生の2学期、スピーチコンテストに出場するクラス代表を決めることになり、僕は絶対選ばれるぞ!という気持ちになり、家で必死に練習しました。そして僕がクラス代表に選ばれ自信がわいてきました。本番まで家で何度も何度も読み返し、間違いがないかチェックしていました。そして当日、緊張し全力を出し切れるか不安でしたが、北岡先生ががんばれと言ってくれたので、少し緊張が和らぎました。迷いもなく、楽しくスピーチをすることができました。

いよいよ審査発表、僕は5位か6位だと思っていましたが、優勝という結果ができました。僕は、予想外すぎて驚きました。でもすごい達成感がありました。クラスの皆や家族も喜んでくれて満足でした。来年も、また努力して優勝を狙っていきます。

2年E組 金 度勲

今回のスピーチコンテストに出場するにあたって、僕は英語の発音を徹底的に磨いた。今まで感覚で積み上げてきたものを、さらに理論で固めることによって、英語を話すことに自信が持てた。

スピーチコンテスト本番では、緊張などはせず、とにかく楽しかったということを感じている。日付が年末に近づくにつれてテレビなどの誘惑が増える中、それに打ち勝ってスピーチの練習に集中できて本当に良かったと、後になって思った。

3年E組 栗原 一徳

社会科の校外学習は行ったことのない場所が多く、非常に興味を持ったので、築地・本郷・両国の3コースに参加した。築地コースでは、勝鬃橋の中ほどにある信号を見つけた。信号が変わることで、この橋がどんな動きをするのだろうと思いながら歩いた。船の通行のために橋の方を動かすとは考えたものだなと感心した。また聖路加病院に行った時は、幸運にも日野原先生に会うことができ幸せな気分になった。本郷コースでは明治時代に生きた岩崎弥太郎が築いた旧岩崎邸の立派な建物に圧倒された。両国コースは江戸東京博物館で東京大空襲の被災資料を見て戦争の怖さが伝わってきた。実際に歴史上の建物や資料を目でみたり肌で感じたりする学習は本から感じ取るよりも強く僕の心に刻まれた。東京という大都市の歴史的な背景についてもっと詳しく調べて再度訪れてみたいと思った。

1年A組 沖 昂志



アフタースクール

吹奏楽部～第11回東日本学校吹奏楽大会出場、

埼玉県代表校として、そして、西関東代表校として、緊張と不安、また東日本大会で演奏ができるという喜びが入り混じる中、当日を迎えた。結果は銅賞だったが、演奏は今までの成果を出し切れたと思う。また、演奏終了後のメンバーの顔が晴れ晴れしたのを鮮明に覚えている。僕は結果も大事だと思うが、ここまで来るためのプロセスがより大事だと思う。ただ単に練習するのではなく仲間の考えを共有しながらメンバーとの絆を深めていった。今回の大会で技術的な成長や、上位大会に出場し、精神的な成長もあった。来年度はさらに良い演奏をして欲しいと、後輩達に期待する。

3年A組 茂木 凱駿

柔道部 朝霞地区中学校新人体育大会優勝、

僕は柔道66kg級に出場しました。中学1年生の新人戦や今年の夏の大会は上の先輩がいたためどちらもふがいない結果でした。ですが、今回は自分達が最高学年のため、負けても言い訳ができない状況でした。なので今回こそは優勝してやと思っていました。当日は前回の大会よりも学校数が増えていて、集合したとき内心とても不安でした。団体戦が始まり、2位の学校となんとか僅差で優勝。そして個人戦は僕を含め3人が優勝でした。両親も来ていたため、勝った試合ができてうれしかったです。そして11月には出場しなかった県大会にも出場することが出来ました。来年の夏の大会も頑張りたいです。

2年E組 佐藤 魁星

チャペルだより

人間とは……

2011年は世界中の人々を震撼させる出来事が多くあった年となった。

2月22日、ニュージーランドで大地震が発生、その衝撃が続く中3月11日に東日本大震災が発生、千年に一度という甚大な被害が発生し、今日に至るまで被災状況がテレビで放映されている。地震によって発生した原子力発電所事故の影響が継続しており、発電所の近隣に住んでいた人々が戻れるのは何十年も先になるかもしれないと言われている。

そして国内を含め世界各国で発生した水害も大きな被害をもたらした。特にタイでは工業地帯が浸水したことにより、自動車や電化製品に少なからぬ影響が出ている。

さらに、制御不能となった人工衛星の破片が、日本を含む地上のどこかに落下することが予測されるとして、多くの人々が不安を抱いた。落下した人工衛星の打ち上げに関わった人々は、打ち上げ当時どのように目標の軌道に

乗せるかばかり考えていて、将来衛星が落下する時のことは頭になかったし、そのようなことはバックグラウンドノイズに過ぎなかったと語っていた。落下した人工衛星はいくつかあったが、どこに落下したのか不明なものもあるという。

科学技術の発達によって、人間が知ることが出来る分野や手段は格段に広がった。4K・8Kと呼ばれるテレビの次世代技術では、人間の目より多くの物を識別したり観察したりできるようになるとのことだ。

しかし、人間が出来ないこと、わからないこと、理解できないことがなくなるとは思えない。天候を変えたり、気温を自由に制御したりするのは不可能である。人間とはそういう存在であるにもかかわらず、人間は地球温暖化をもたらすようなことをしていると、様々な議論が続けられている。

2012年を迎え、私たちはこの年が希望を増し加える年となるように願う。その一方で、私たち自身が人間の存在根本を忘れてしまわないことがとても重要である。このことをしっかりと心に刻む一年にしたいものである。

チャペレン 鈴木 伸明

行事予定～中学校～

1/25(水)	中学校入試第1回・帰国児童入試
26(木)	中学校入試第1回・帰国児童入試合格発表
28(土)	中学校入試第1回・帰国児童入試入学手続き(～2/3)
2/3(金)	中学校入試第2回窓口出願
4(土)	中学校入試第2回
5(日)	中学校入試第2回合格発表・入学手続き
11(土・祝)	中学校入学予定者・保護者登校日
14(火)	マラソン大会
18(土)	中学校入学予定者心電図聴力検査
27(月)	中学3年期末試験(～29日)
3/3(土)	中学1・2年期末試験(～6日)
15(木)	卒業式
19(月)	終業礼拝
20(火)	春季休業(～4/7)
4/9(月)	入学式
10(火)	始業式

行事予定～高校～

1/28(土)	高校推薦入試・地域指定校制推薦入試入学手続き
2/2(木)	高校一般入試
3(金)	高校一般入試合格発表
8(水)	高校一般入試入学手続き
14(火)	マラソン大会
24(金)	高校1・2年学年末試験(～29日)
3/10(土)	高校入学予定者教科書販売日
14(水)	卒業式
17(土)	高校1・2年英語スピーチコンテスト
19(月)	終業式
20(火)	春季休業(～4/7)
4/9(月)	入学式
10(火)	始業式

Campus News Rikkyo Niiza 第56号

編集：立教新座中学校・高等学校

教務・入試広報課

発行：立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25

☎048-471-2323(代表)